

海外自治体幹部交流協力セミナー2018 (GAOK-CLAIR 共同研修)

事業概要

テーマ : 日本の災害対策及び復興施策

海外参加者数 : 11名

京畿道	自然災難科	自然災難対策チーム長	チェ・ジョン Chol
ソウル特別市	評価担当官室	主務官	キム・チョンウ
大邱広域市	安全政策官	非常対備チーム長	チェ・ジョンス
大田広域市	災難管理課	主務官	ジョン・スンヨン
蔚山広域市	災難管理課	主務官	キム・ヨンウ
江原道	非常企画課	主務官	ヒョン・ジョングク
忠清南道	災難対応課	自然災難対応チーム長	ヒョン・ミョンギ
全羅北道	自然災難課	自然災難予防チーム長	リー・スンテク
全羅南道	自然災難課	主務官	ジョン・ギョンソン
慶尚北道	安全政策課	主務官	ファン・ホソブ
済州特別自治道	安全政策課	非常民防衛チーム長	キム・キョンソク

日程 :

日程	内容
5月23日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ○視察：首都圏外郭放水路 ○歓迎夕食会
5月24日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ○講義：日本の地方行政の概要（明治大学木村俊介教授） ○講義：災難対策への支援と自らの備え（消防庁防災課）
5月25日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ○講義：東京都の防災計画について（東京都防災計画課） ○視察：有明の丘基幹的広域防災拠点施設
5月26日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ○視察：埼玉県防災学習センター
5月27日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ○移動：岩手県へ ○視察：中尊寺 ○体験：猊鼻溪船下り
5月28日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ○視察：陸前高田復興まちづくり情報館ほか震災遺構 ○訪問：陸前高田市長表敬訪問 ○講義：陸前高田市における復旧・復興の状況（陸前高田市復興推進課） ○講義：渡邊克己氏の談話（陸前高田市前消防団長）

	○講義：災害対策論・現地での運用、災害廃棄物処理（岩手県立大学千葉実特任准教授） ○歓迎会（陸前高田市）
5月29日（火）	○視察：奇跡の一本松ほか震災遺構
5月30日（水）	○帰国

【5月23日（水）】

（1）視察：首都圏外郭放水路

埼玉県春日部市にある首都圏外郭放水路を視察研修した。大雨が続いた際に、どのようなメカニズムで他の河川に水を流しているのかについて、航空写真や機械装置を使って説明をいただいた。また、地下の放水路見学も実施され、参加者は、その壮大なスケールに驚きの声をあげていた。



視察：首都圏外郭放水路

（2）クレア主催歓迎夕食会

祢保希赤坂店にて開催。参加者11名、大韓民国市道知事協議会（GAOK）6名、クレア側出席者12名など、総勢30名が参加。

【5月24日（木）】

（1）講義：日本の地方行政の概要

明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科、木村俊介教授による日本の地方自治講義をクレア本部会議室にて開催。参加者からは、とくに日本の市町村合併についての質問が相次いだ。



講義：日本の地方行政の概要

（2）講義：災害対策への支援と自らの備え

総務省消防庁国民保護・防災部、田辺康彦防災課長による災害対策に関する講義を受講。首都直下地震はもちろん、近年、増加している大雨（局地化、集中化、激甚化）についての対策や、都道府県や市町村との連携等について講演がなされた。有事の際には、対策本部となる「防災センター」での講義は、参加者にとって貴重な体験となった。

【5月25日（金）】

（1）講義：東京都の防災計画について

東京都総務局総合防災部、若井太郎防災計画課長による東京都の防災計画についての講義を受講。首都直下地震が発生した場合の被害想定に対する、対応策や、被害を未然に減らす取組について講演がなされた。講師からの、関係機関が協力して、適切な役割を持つことが減災への有効手段であるとの説明に対して、参加者からは、どのような方法で関係機関との連携を高めているのか、と興味を示していた。

（2）視察：有明の丘基幹的広域防災拠点施設

首都圏での大規模な災害発生時に「災害現地対策本部」となる施設を訪問。総 960 m²、300 インチのモニターを備えるオペレーションルームを中心に視察。併設される防災体験学習施設では各自がレンタルタブレットを持ち、熱心に係員の説明に聞き入っていた。



視察：有明の丘基幹的広域防災拠点施設

【5月26日（土）】



視察：埼玉県防災学習センター

（1）視察：埼玉県防災学習センター

埼玉県鴻巣市にある消防学校に隣接する埼玉県防災学習センターを訪問。係員の案内で、「地震体験」、「暴風雨体験」、「消火体験」、「煙体験」など疑似体験を通して、防災に対する知識・技術・行動について学んだ。

【5月27日（日）】

（1）視察：中尊寺

（2）体験：狛鼻溪舟下りなど

【5月28日（月）】

(1) 視察：陸前高田復興まちづくり情報館ほか震災遺構
2011年3月11日、東日本大震災に伴い、陸前高田を襲った津波の高さは、12メートルにも及び、多くの犠牲者をだした。犠牲者を偲んで作られた追悼施設や、陸前高田復興まちづくり情報館を訪れ、現在の旧陸前高田市街を見て、津波被害の甚大さ、復旧も進んでいない様子に、参加者は心を痛めていた。



(2) 訪問：陸前高田市市長表敬訪問

陸前高田市市長への表敬訪問を実施。市長は体調不良のため、岡本雅之副市長と村上清参与にご対応いただき、復旧の進捗状況や、今後の復興計画について説明をいただいた。参加者からの今後の復興計画について、震災前の状況を目指すのか、あるいは、新しい産業づくりを目指すのかとの質問に対し、新しい町にフィットした産業、たとえばバリアフリー産業を発展させていければ、との回答がなされていた。

(3) 講義：陸前高田市における復旧・復興の状況

陸前高田市復興局復興推進課長兼被災者支援室長村上弘人氏から、陸前高田市の復興計画についての講義を受講。講義については、時間が押していたため、非常に短い説明となってしまったが、村上課長は2日間にわたり、各地の震災遺構を案内していただき、各所で参加者からの質疑に対する回答や意見交換をしていただいた。



(4) 講義：前消防団長渡邊克己氏の談話



被災当時の地区消防団長で、被災後陸前高田市の消防団長を歴任された渡邊克己氏の談話。津波発生時の動画や、写真を中心に講演がなされた。津波が陸前高田を襲った動画が流れた際には、その場にいた全員がその悲惨な光景を食い入るように見つめていた。

(5) 講義：災害対策論・現地での運用、災害廃棄物処理



講義：質疑応答で、質問をする参加者

岩手県立大学、千葉実特任准教授による被災後の廃棄物処理を中心に説明がなされた。千葉先生は震災当時、岩手県の職員であり、参加者からは、被災者の生活再建のお金に関する質問や、今後の津波予防対策についての質問が飛び出した。もし、再び津波が襲ってきた場合、津波被害は完全に防ぐことはできないので、被害を減らすことを目標にしているとの回答が印象的だった。

(6) 陸前高田市歓迎夕食会

キャピタルホテル 1000 の宴会場にて実施。陸前高田市からは岡本副市長、村上参与、陸前高田市職員 2 名の計 4 名にご参加いただき、参加者 11 名や随員職員など計 23 名が参加。

【5月29日（火）】

(1) 視察：奇跡の一本松ほか震災遺構

奇跡の一本松のほか、避難所、仮設住宅、区画整理事業エリア、下和野災害公営住宅及び防潮堤を視察した。避難所には、今でも入居している方が多くおられるため、新しく造成している土地の造成完了や、公営住宅の十分な供給がいち早く達成されるよう願う。防潮堤については、1000年に一度の確率で陸前高田を襲うと考えられているレベル2の津波に対しては、完全に防ぐことはできない高さで建設されているため、早めに避難するという住民の意識も減災には不可欠だとの説明がなされた。



視察：奇跡の一本松の前で記念写真



視察：防潮堤にてブリーフィング

【5月30日（水）】

(1) 帰国